



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくたくましい子 ところあたたかな子

自分で考え自分で決め実行する

いよいよ子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。夏休みは、いままでの生活や学習を見つめ直すとともに、日頃できない様々な経験や体験のできるチャンスです。また、子どもたちを地域で育てていただく絶好の機会でもあります。ラジオ体操やさまざまな行事の行われる所もあるでしょう。家族で出かけたり、各種イベント等へ参加したりして新しい興味・関心を見いだしてほしいと思います。



「あいさつ運動」

夜は遅くまで学問に励み、ゆっくりと休む間もなく教育しております。」と答えました。それを聞いた義元はとても怒りました。「それはむごい教育ではない。竹千代には豪華な食事を与え、寝たいと言えればいつでも寝させ、休みたいと言えればいくらでも休ませよ。夏は涼しく、冬は暖かくしてやれ。本人が望むものは何でも与え、どんなわがままも聞いてやるのだ。」と命じます。家来たちは驚いて「それは甘い教育ではありませんか。」と尋ねました。



すると義元はこう答えました。「そうすれば、たいていの人間は駄目になる。」竹千代の才能を見抜いていた義元が、甘やかし自分で物事を判断できない人間に成長させようとしたのです。「むごい教育」とは「厳しい教育」ではなく「甘やかすこと」だったのです。戦国時代と現代を同じように比べることはできませんが、つらいことを経験せず、楽しいことばかりしては、人間として成長できないということです。



42日間の長い夏休みです。楽しいことだけでなく、自分で決めた何かに挑戦し、継続することで得た達成感が、2学期からの学校生活をより充実させるきっかけや原動力になるでしょう。

保護者の皆さま・地域の皆さまには、子どもたちの安全な登下校のための見守りや体験活動等で、1学期たいへんお世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

滋賀県発明協会創立80周年にあたり、本校が協会の青少年向き発明奨励事業に数年に渡り多くの作品を出品したことを讃え、「感謝状」を贈呈していただきました。

発明は、科学技術の発展と地域経済の振興の原動力です。おづっこの「発明」が、守山や日本の未来に貢献します。

